

平成 30 年度第 3 回沖縄県がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会議事要旨

日 時：平成 30 年 11 月 1 日（木）14：30～16：30

場 所：琉球大学医学部附属病院 3 階がんセンター

出席者：6 名 島袋幸代（県立中部病院）、樋口美智子（那覇市立病院）、宮城郁美（北部地区医師会病院）、増田昌人（琉球大学医学部附属病院）、大久保礼子（琉球大学医学部附属病院）、山田綾美（琉球大学医学部附属病院）

Skype 参加：2 名 金城美奈子（県立八重山病院）、慶田博子（県立宮古病院）

陪席者：1 名 朝川恵利（県立宮古病院）

欠席者：阿波連愛香（沖縄県がん患者連合会）、喜屋武隆也（沖縄県健康長寿課）

【報告事項】

1. 平成 30 年度第 2 回沖縄県がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会議事要旨

資料 1 に基づき、平成 30 年度第 2 回沖縄県がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会議事要旨が承認された。

2. がん患者ゆんたく会

資料 2-1～2-3 に基づき、平成 30 年 7～9 月に各拠点病院にて開催された「沖縄県がん患者ゆんたく会」について報告があった。県立中部病院では平均 10 名くらいの参加があり、講義などがあると参加人数も増えると報告された。那覇市立病院では開催内容など、一人一人への周知について改善していきたいとの報告があった。琉大病院ではこれから講義などを予定しているとの報告があった。

3. がん相談件数（7～9 月）

資料 3-1～3-7 に基づき、平成 30 年 7～9 月の各拠点病院のがん相談件数について報告があった。県立中部病院では、外来からの声掛けもあり件数が増加した。また、同一の相談者が数回利用することも増えてきたと報告があった。県立宮古病院では、化学療法室でのスクリーニングを開始し、今後範囲を拡大していきたいとの報告があった。県立八重山病院では、波照間島や西表島在住の方も出来るだけ通院での治療を希望されており、渡航費や宿泊助成についての相談が増えている。また、10 月から新病院となり、化学療法室の拡大など患者も快適に過ごせるようになったと報告があった。また、宮城委員より相談件数カウントの仕方について質問があり、国立がん研究センターのシート記入を基準に再確認が行われた。

4. がん相談件数集計（7～9月）

資料4に基づき、平成30年7～9月の6拠点病院のがん相談件数集計の報告があった。平均して毎月400件程度の相談件数となっている。大久保委員より、患者からのフィードバック体制を「今後の活動についての要望」の項目などから行えると良いと意見があった。

5. がん相談支援センターの広報（7～9月）

資料5に基づき、山田委員よりがん相談支援センターの広報活動について報告があった。掲載内容について、新聞社と再度確認をすることだった。

【協議事項】

1. 平成30年度の部会事業の行動計画について

資料6に基づき、大久保委員より部会事業の行動計画について説明があった。前回決定したそれぞれの施策に対して、今年度の実施事項を確認した。

2. がん相談員実務者研修会について

資料7に基づき、大久保委員よりがん相談実務者研修会の企画案について説明があった。2019年2月2日、那覇市立病院にて「アピアランスケア」をテーマに開催する。演習内容について議論があり、外見ケアの実技も取り入れたグループワークを行うこととなった。部会委員は原則ファシリテーター等の役割を担うことが承認され、ファシリテーターの招聘文書や旅費などについては、後日相談することとなった。

3. がん相談支援センターの広報（チラシ）について

資料7に基づき、大久保委員よりがん相談支援センターのチラシ・ポスター発行や配布先について説明があった。チラシについて、内容などを見直し再発行する。修正点については、メーリングリストにて行うこととなった。A0サイズのポスターを各拠点病院へ1枚ずつ、琉大病院へ5枚発行することとなった。

また、増田委員より、相談支援センターへのアクセスにおいて、直通番号を設置することが望ましいことについて説明があり、各病院の電話対応の体制について確認を行った。

4. 地域相談支援フォーラム IN 宮崎での報告について

資料8に基づき、大久保委員より地域相談支援フォーラムの説明があった。今回は、金城委員が実行委員として参加することとなった。各県の報告内容について、役割分担し、事例紹介は金城委員が検討することになった。また、相談支援センターの報告や就労支援への取組みは、大久保委員が下書きを行い、メーリングリストにて確

認することとなった。

5. 患者サロンネットワーク会の開催について

資料 10 に基づき、大久保委員より患者サロンネットワーク会の開催概要案について説明があった。「AYA 世代の支援」をテーマに講師を招き 1 時間の講演を依頼することとなった。開催日について、講師の日程を確認し、ミーリングにて調整を行うこととなった。

6. その他

増田委員より、今年度の現況調査について、各病院で出来ていない項目を共有し対応方法を考えていきたいと提案があった。毎年行うプロセス評価（チェックリスト）の代わりに、現況調査を用いて病院ごとに確認した上、次回部会で協議することとなった。また、次年度計画についても次回検討することとなった。

次回開催は、2019 年 2 月 7 日（木）を第一候補とする。